

タンク建設進捗状況

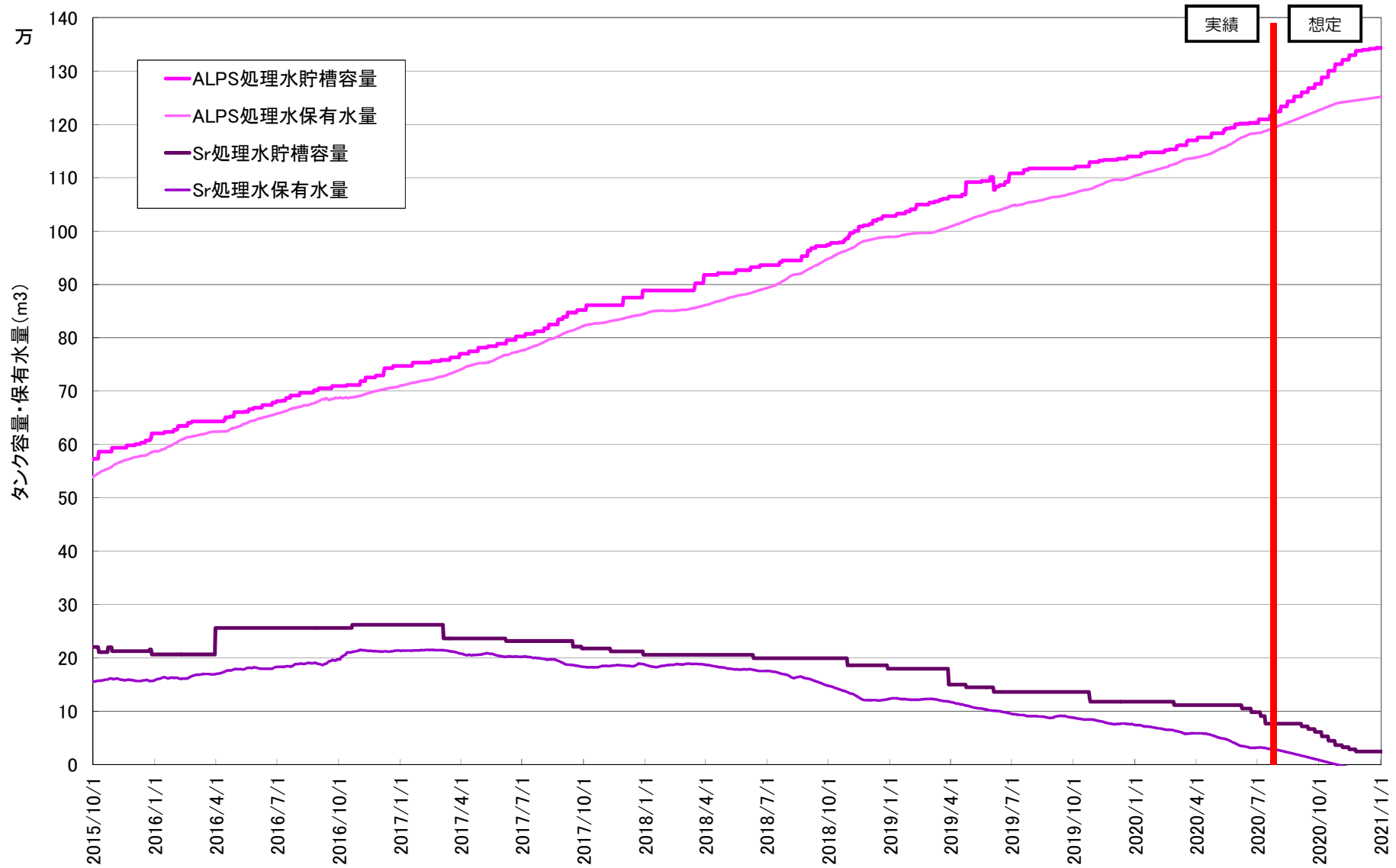
2020年7月30日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1-1. タンク容量と貯留水量の実績と想定

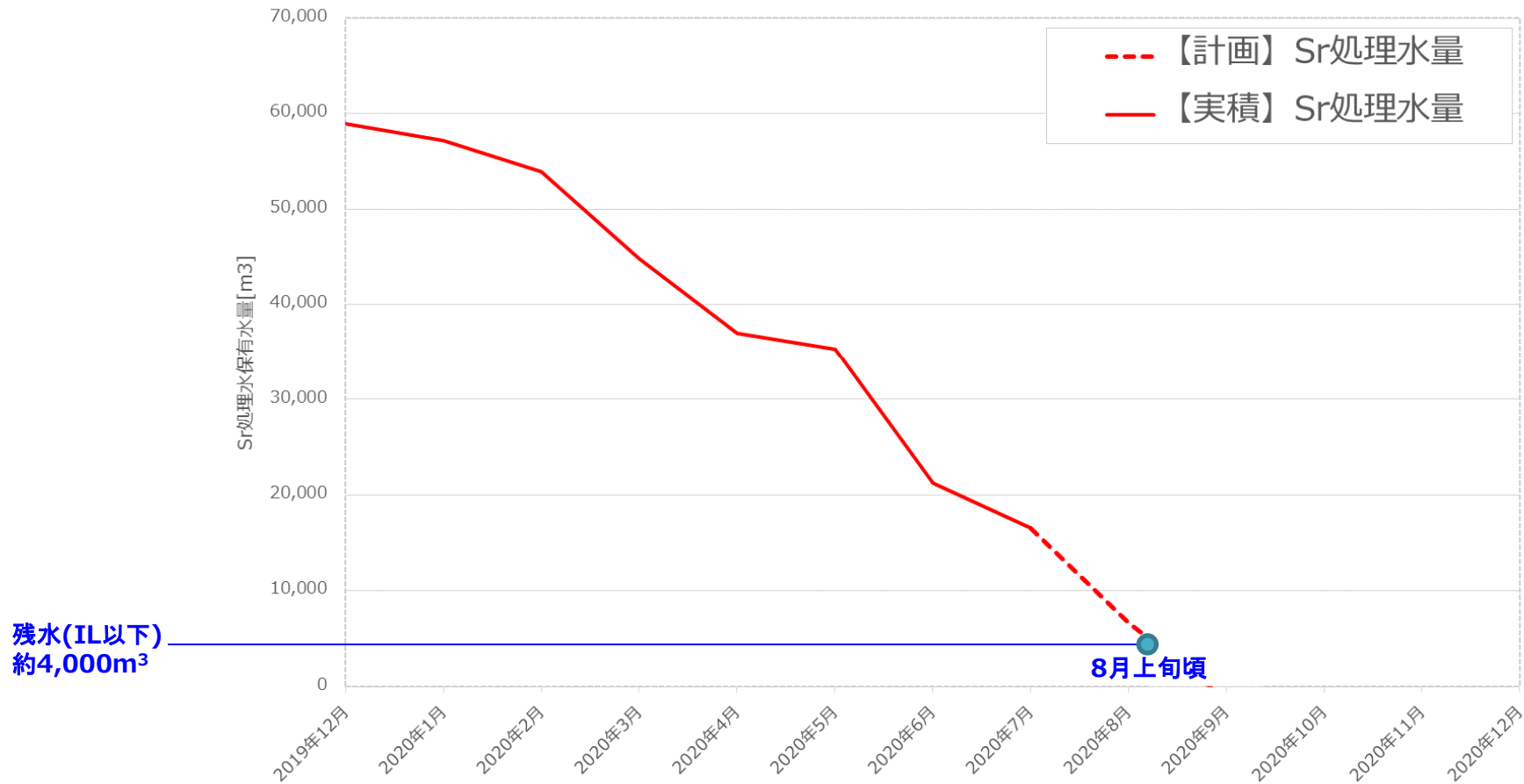
水バランスシミュレーション（サブドレン他強化+陸側遮水壁の効果）



1-2.再利用率の溶接型タンク内のSr処理水の処理完了時期

- 再利用率の溶接型タンク内の変遷は以下の通り。
 - ポンプインターロック（ポンプ自動停止）以下の残水 約4,000m³を除きSr処理水の処理を2020年8月上旬頃に完了する見込みである。

Sr処理水保有水量

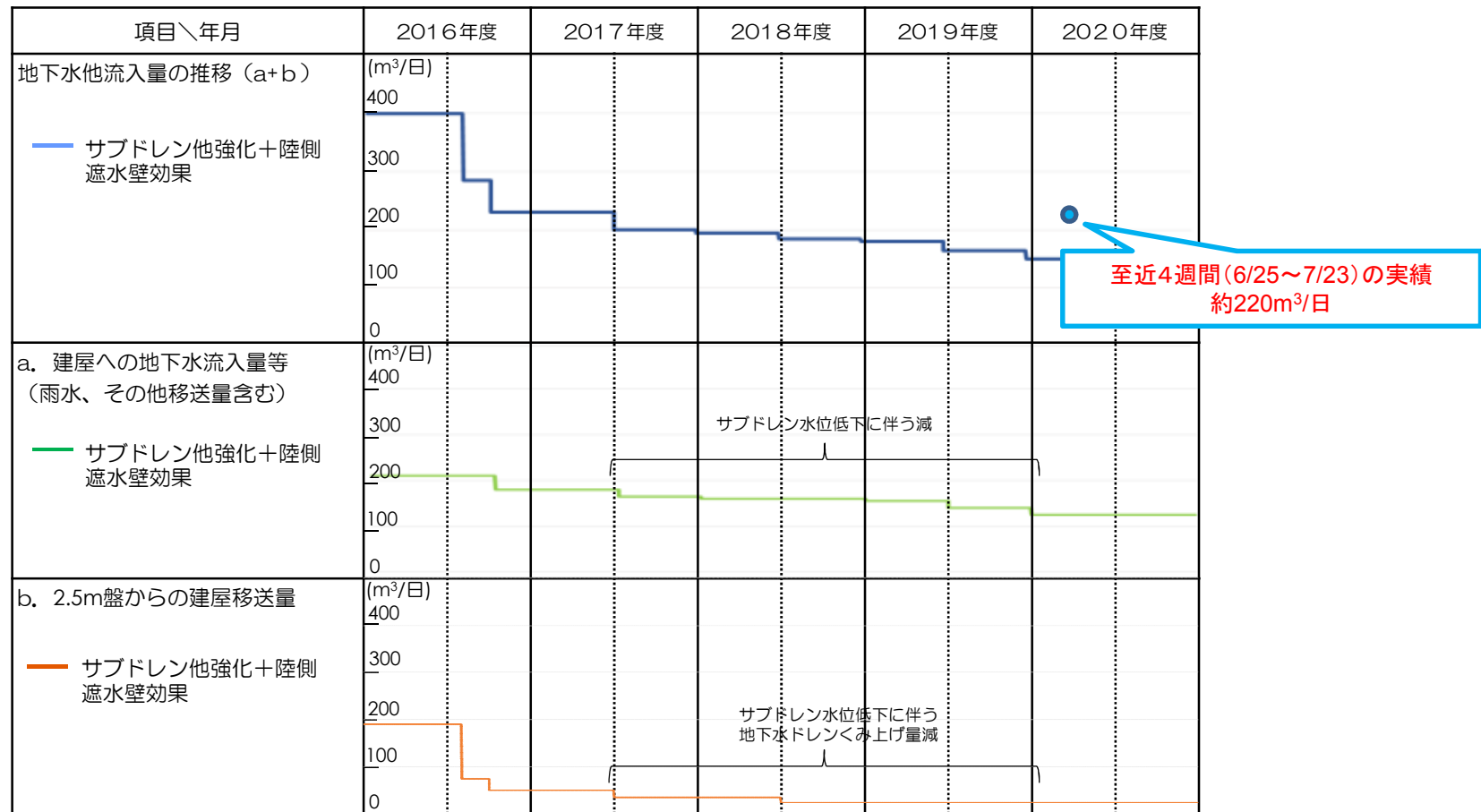


1-3. 貯留水量の想定に用いる地下水他流入量の想定条件と至近の実績



水バランスシミュレーションの前提条件

➤ サブドレン+陸側遮水壁の効果を見込んだケース



2-1. 溶接タンク建設状況

タンクリプレースによる溶接タンク建設容量の計画と実績は以下の通り（～2021年3月）

溶接タンクの月別建設計画と実績

下線は計画

単位：千m³

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
2019	26.9	10.0	31.0	9.1	0	0	11.9	4.0	6.6	7.9	5.3	10.6	123.3
2020	13.2	10.6	2.7	<u>11.9</u>	<u>7.9</u>	<u>7.9</u>	<u>9.3</u>	<u>13.2</u>	<u>5.3</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>82.0</u>

タンク容量の確保計画と実績（全体※1）

	計画 (2020.12.31時点)	実績※2 (2020.7.23時点)	タンク容量確保目標 約900m ³ /日(約300m ³ /日※3) (2020/7/23～2020/12/31) [建設・再利用合計]
タンク総容量	約1,368千m ³	約1,223千m ³ (約1,320千m ³ ※3)	

※1：水位計0%以下の容量（約2.1千m³）及び日々の水処理に必要なSr処理水用タンク（約24.7千m³（既設置））を含む

※2：「福島第一原子力発電所における高濃度の放射性物質を含むたまり水の貯蔵及び処理の状況について（第461報）」にて計算

※3：Sr処理水用タンクからALPS処理水用タンクとして再利用する分（約97千m³（既設置））を含む

2-2. タンク進捗状況

1. タンク建設・解体関係

エリア	全体状況
C・E	C西：2019/10/27 フランジタンクの解体作業着手。 2020/4/27 フランジタンク解体・撤去完了。 C東：フランジタンクの解体作業中。 E：フランジタンクの解体作業中。
G1	2019/2/27 鋼製横置きタンク撤去完了。 2019/4/1 溶接タンク設置開始。 2020/2/3 基礎構築完了 タンク設置実施中。
G4南	2018/9/13 フランジタンクの解体作業着手。 2019/3/21 フランジタンク解体・撤去完了。 2019/12/1 溶接タンク設置開始 2020/3/4 基礎構築完了 タンク設置実施中。
G4北・G5	G4北：2020/5/14 フランジタンクの解体作業着手 G5：2020/7/2 フランジタンクの解体作業着手

2. 実施計画申請関係

エリア	申請状況
H9・H9西	タンク解体分 2020/7/8 実施計画認可

3-1. ALPS処理水タンク内のスラッジ堆積 [原因調査状況]

- ALPS処理水タンク底部においてスラッジの堆積が確認された事象（2020/2/6定例会見）を踏まえ、その他のALPS処理水タンクのうち代表タンクの内面調査を実施。
 - 代表タンクの選定に当たっては、処理設備（既設・増設・高性能ALPS）および処理時期を考慮。
 - 代表タンクの内面調査の結果、タンク底部にスラッジの堆積を確認したタンクは、G3エリアのみである。（詳細は次頁参照）
 - G3エリアは、2013年に既設ALPSで処理した貯留水のタンクであることから、その時期の処理状況等について確認する。
- その他、社外専門機関で成分・形態などの詳細分析を実施中。
- また、内面調査を行っていない他のタンクについても、今後の点検においてスラッジ堆積の有無を確認する。

3-2. ALPS処理水タンク内のスラッジ堆積 [調査実績]



エリア	調査日	処理設備	貯留年度	告示濃度 比総和※	スラッジ 堆積	硫化水素 発生
G3-A5	2020/ 2/ 5	ALPS I	2013年	4.59	有	無
G3-A1	2020/ 2/25	ALPS I	2013年	4.59	有	無
G3-B1	2020/ 3/ 6	ALPS I	2013年	2.63	有	無
G3-C1	2020/ 3/18	ALPS I	2013年	4.59	有	無
H2-D1	2020/ 4/ 3	ALPS I	2017年	0.40	無	無
H2-G1	2020/ 4/ 9	ALPS III	2017年	0.63	無	無
J5-C1	2020/ 5/14	ALPS I	2014年	7.68	無	無
H1-C2	2020/5/20	ALPS III	2015年	1.13	無	無
H2-F1	2020/5/27	ALPS III	2017年	2.52	無	無
K1-A1	2020/ 6/ 1	ALPS II	2014年	31.1	無	無
J1-L1	2020/ 6/24	ALPS I	2014年	1.48	無	無
K4-A1	2020/ 7/ 2	ALPS I	2016年	0.07	無	無
K4-B1	2020/7/13	ALPS III	2016年	0.23	無	無

※主要7核種

3-3. ALPS処理水タンク内のスラッジ堆積 [経緯]

- ALPS処理水を貯留している溶接型タンクを調査した所、底部にスラッジが堆積していることを確認。(2020/2/6定例会見)
- 確認されたスラッジの成分分析及び硫化水素測定を実施。
 - γ線放出核種は検出限界値未満。
 - 硫化水素測定を実施し、硫化水素は未検出。
 - 硫化水素が発生したSr処理水のスラッジとは組成が異なることを確認。
- ALPS処理水貯留中タンクの内面点検を実施。
 - タンク側板について、引っかき傷や塗装の剥がれがないことを確認。
 - タンク底板について、必要な肉厚を有していることを確認。
 - タンクの継続使用に影響のないことを確認。
- スラッジが発生した要因が特定できていないことから、継続してALPS処理水を貯留している他タンクエリアの内面点検を実施していく。(2020/3/26 廃炉・汚染水対策チーム会合事務局会議)

【参考】タンクエリア図

